

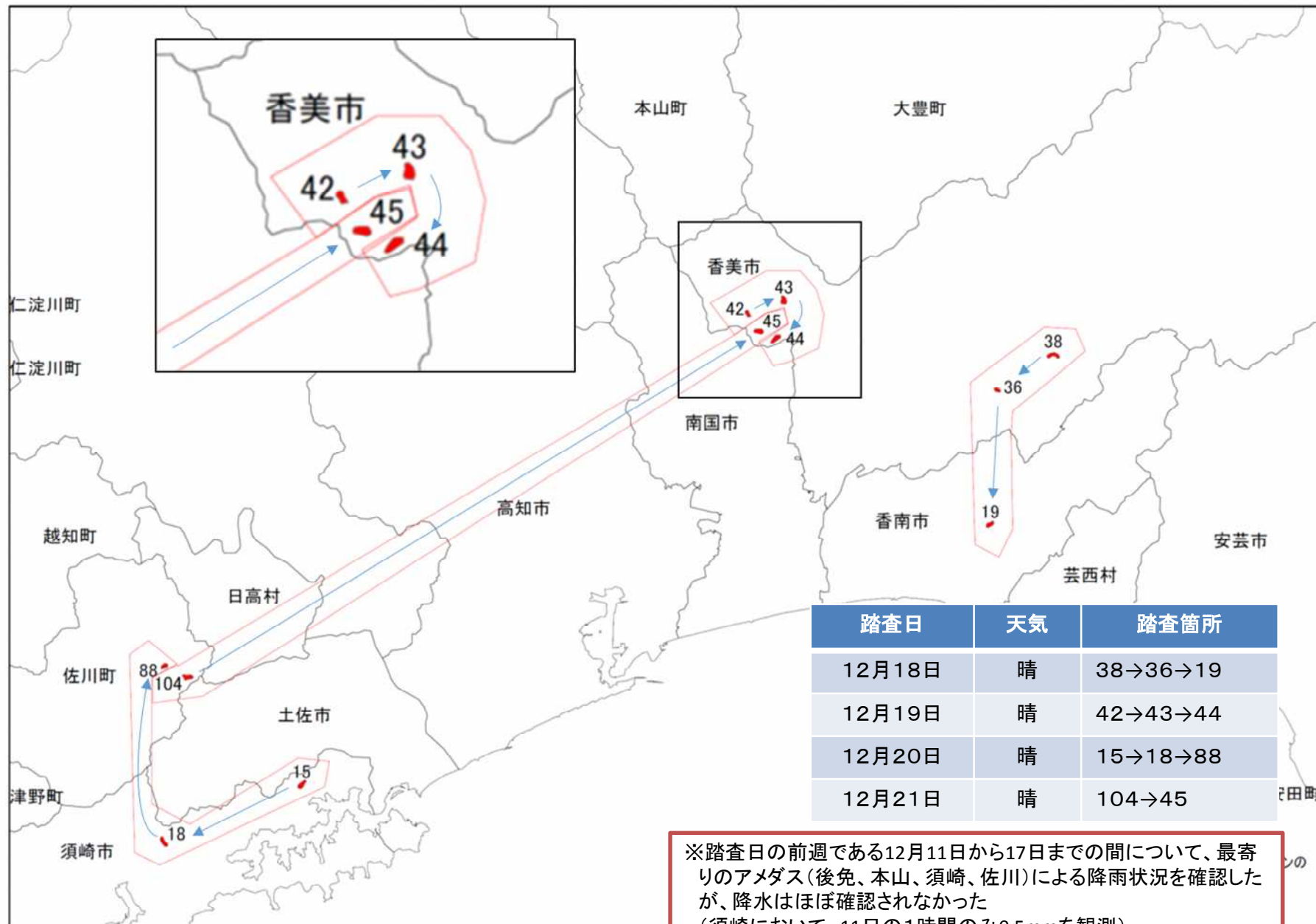
新たな管理型最終処分場 候補地選定委員会

第6回委員会

平成30年2月1日

現地踏査結果

現地踏査日程



踏査日	天気	踏査箇所
12月18日	晴	38→36→19
12月19日	晴	42→43→44
12月20日	晴	15→18→88
12月21日	晴	104→45

※踏査日の前週である12月11日から17日までの間について、最寄りのアメダス(後免、本山、須崎、佐川)による降雨状況を確認したが、降水はほぼ確認されなかった(須崎において、11日の1時間のみ0.5mmを観測)



モノレールを確認



果樹園(みかん)を確認



谷川と護岸を確認(水量は多い)
(右岸から撮影)



果樹園(みかん)を確認

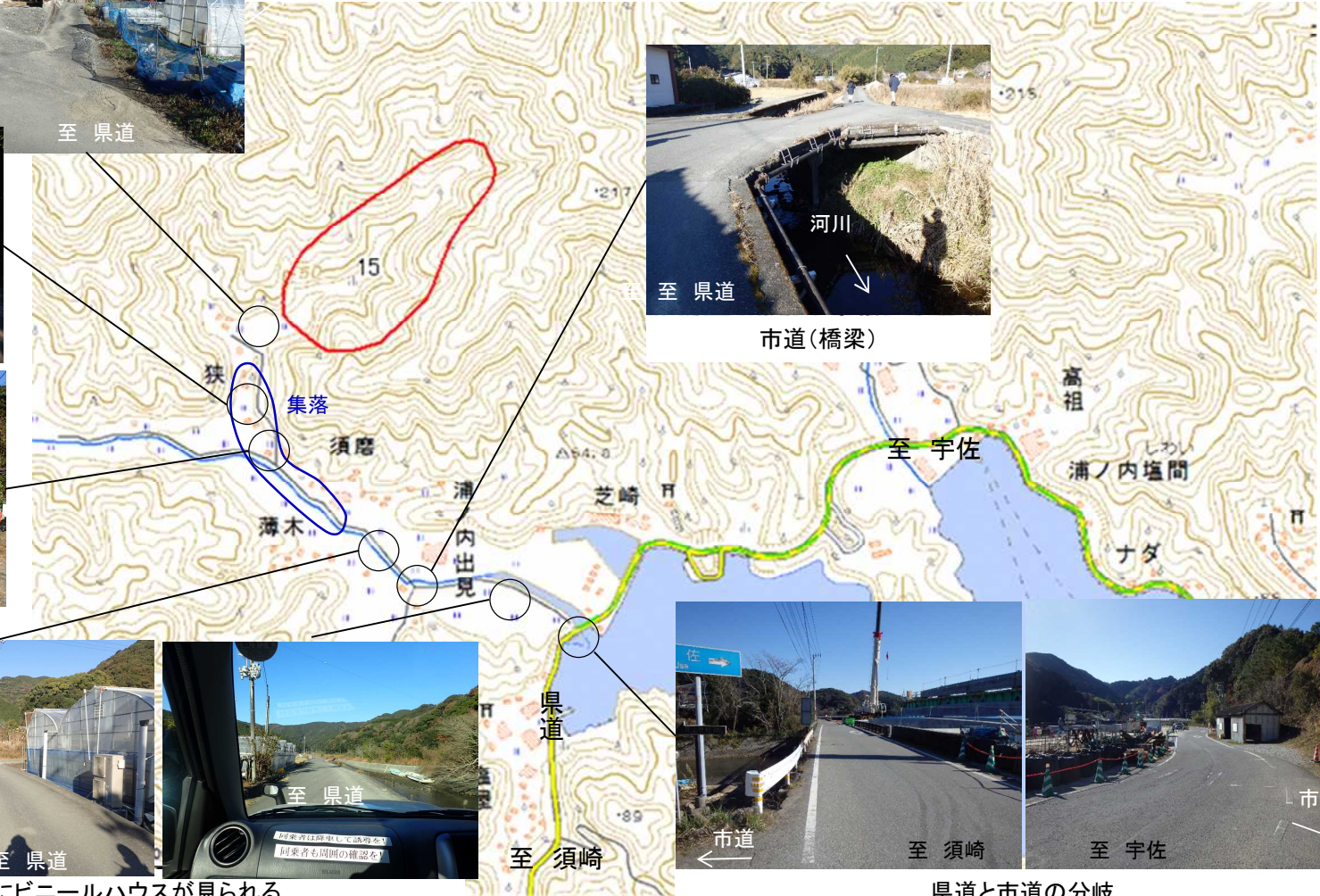
- ・調査対象地は谷地形であり、谷底の幅は広く(約45m程度)、兩岸の斜面は緩やかなU字形の谷であった
- ・調査対象地内の谷底部分に「みかん」を栽培している箇所が2箇所(合計で約0.5ha程度と推定)、右岸の斜面に「みかん」搬出用と思われるモノレールが確認された
- ・調査対象地内に谷川(幅は約3.0m程度)が確認され、下流部では護岸が整備されており、水量も多い

<既存道路、建物等の状況>



建物、ビニールハウスが見られる

至 県道



至 県道

市道(橋梁)



至 県道



至 県道



市道沿いにビニールハウスが見られる



至 県道

至 須崎



市道

至 須崎



市道

至 宇佐

県道と市道の分岐

- ・県道から調査対象地までの市道区間は、集落を通行することとなり、市道に面して、住家(5軒)、空き家と思われる住家(3軒)、倉庫等(8軒)、墓地(3箇所)、ビニールハウス、田畑が確認された
- ・市道は橋梁(3橋)が確認され、幅員狭小(約2.0~3.5m程度)であり、市道に沿って河川が流れていた

<調査対象地下流の建築物への影響>

①



下流の建物

②



下流の建物

③



最寄りの建物



・調査対象地の入り口付近には、住家(5軒)、空き家と思われる住家(1軒)、倉庫等(2軒)が確認された
⇒施設整備の際の工事車両、施設整備後の廃棄物運搬車両及び埋立作業による影響があると考えられる



- ・調査対象地は谷地形であり、谷底の幅は約15～25m程度であった
- ・調査対象地内に谷川(中流部の幅は約2.5m程度)が確認され、水量は少ない
- ・中流部では、谷底にぬかるみがある箇所が見られた

<既存道路、建物等の状況>



至 県道



至 調査対象地



至 県道



至 県道

市道(橋梁)



調査対象地

調査対象地付近は、未舗装



← 市道(橋梁)

県道

- ・県道から調査対象地までの市道は、幅員狭小(約2.5~3.0m程度)で線形不良、道路の勾配が急な箇所や住家に挟まれている箇所もあった
- ・市道区間には橋梁が3橋、市道に面して、住家(3軒)、倉庫等(7軒)、田畑が確認された



公道沿いに物置小屋を確認



果樹園(みかん)を確認
(右岸斜面の尾根付近)



県道からの分岐に作業小屋を確認



谷底は、段々畑の跡と思われる石積みを確認された

- ・調査対象地は谷地形であり、谷底の幅は広く(約30m程度)、谷筋を挟んだ兩岸の斜面は緩やかなU字形の谷であった
- ・調査対象地内の右岸斜面の尾根付近に「みかん」を栽培している箇所が確認された
- ・県道から調査対象地までの公道沿いに地形図で確認できなかった倉庫(小屋)が2軒確認された

<既存道路、建物等の状況>



県道(1車線区間始まり)



県道(改良済み)



公道(橋梁)



公道(未舗装)

- ・調査対象地までの県道区間(1車線区間)は、幅員約3.0~3.5m程度のほぼ直線道路であり、県道(1車線区間)に面して、住家(4軒)、倉庫等(5軒)、田畑が確認された
- ・県道(1車線区間)から調査対象地までの公道区間は、幅員狭小(約2.5m程度)の未舗装道路であり、公道に面して、地形図で確認できなかった倉庫(2軒)と橋梁(1橋)が確認された



- ・調査対象地は、谷地形であり、谷底の幅は約14～17m程度と狭く、両岸の斜面角度が急であるV字形の谷で、中流部には岩塊や転石が多数確認された
- ・調査対象地内に谷川が確認され、その幅は約1～2m程度であり、水量は少ない
- ・調査対象地の上流側に墓地と小屋(休憩小屋と思われる)が確認された

<既存道路、建物等の状況>



国道195号と県道の分岐



県道(2車線区間)



林道(幅員約2.0m)



林道(これより奥は未舗装)



県道(橋梁)



市道は集落を通過



- ・国道195号から調査対象地までは、県道(1車線と2車線区間が混在)、市道(1車線で集落を通過)、林道の道路順である
- ・市道には、橋梁(4橋)が確認され、集落を通行することとなり、市道に面して、住家(10軒)、空き家と思われる住家(1軒)、倉庫等(14軒)、墓地(5箇所)、ビニールハウス、田畑が確認された
- ・調査対象地の下流側へ向かう林道は、幅員が非常に狭小(約2.0m程度)であり、車の通行は困難であった
- ・調査対象地の上流側までは、林道(幅員約6.0m程度)が整備されている